

セコイアその後

田 中 兼 治

以前に多可郡杉原谷(現、加美村)産の藤賀与一氏に關係するセコイアについて1回報告しましたが、その時の挿木が大分大きくなりました。挿木の鉢のままのものは一切主軸を出さず、まるできやらぼくの様に横ばいの形、他は露地に仮植のまま2年半暮れましたが、これも四方に枝が伸びるのみで変な樹相でしたが、今年の夏芽から主軸らしいのが出かけています。

現在8本の内2本は主軸が出ていますが、6本は依然としてバラツと横に広がっています。併し横枝の途中から主軸にならんとしているのも1本あります。

昨年冬迄はどうしても主軸が出ないので、12月28日に又蘇へ行つて例のセコイアの根張りのあちこちから出ている不定芽の主軸や他の切株から出ている新芽をもらつて来て直ちに8寸鉢に5本宛さしました。今度は砂の都合で全部川砂ばかり鉢の底に少しみずごけを入れて、他は全部同質の砂にさし、本年3月末迄は古バケツに深さ1匁程水を入れ、これに挿木した鉢を入れました。そしてずつと室内の机の下におき殆んど日光の直射をさげました。4月以後は時々光の当る様にしました。4月迄に3本枯れました。6月になつて鉢のまま庭に出して毎日灌水します。8月の篠山の生物学会の講習中は小使に頼んだが気がかりで4日の内3日迄通いましたが、日照りが強すぎたか又2本枯れて現在20本は完全に挿穂から新芽が出ているから、もう大丈夫だと思つています。

尙此の他にも枝の切りつ端を使つて発根ホルモンに1晝夜つけたもの、1週間つけたもの、つけぬもの等色々しましたが全く常識的なやり方で、科学的の基礎がなく且6月20日から2週間、私が病欠したので此の分は全部枯らしてしまいました。

産産のセコイアの挿木には自信が出来ましたが、本物のアメリカセコイアの種子が何うしても播きたくなつて12月末、藤賀氏にお願いしてカリフォルニアのオークランドから取り寄せてもらいました。31年2月24日念願叶つてアメリカから待望の種子袋が2つ届きました。藤賀氏の話によると、普通便にすると税関で消毒や検疫だとうるさいから高くつくが、飛行便にしようとの事でした。それでいて2か月目にセコイアの内センベルピレンス種とギガンテイ種の2種ですが届きました。藤賀氏の曰く、当地の山林組合の人に以前種子をやつた所、うまく発芽をさせなかつたから今度は是非研究的にやつて立派に発芽をさせてほしいとの事

でした。

それで全部播いて失敗してはとりかえしがつかぬと思い、各種100粒ずつ播くことにしました。3月1日木曜、室内温度最低3・5、最高12、外気温6°、Cの時電気定温器を使い22~23度位にしてシャーレーに川砂を入れ50粒宛4こを使つてやつてみました。

発芽力は見事なもので、センベルピレンスの方は3~5日の間にギガンテイの方は5~7日で殆んどが発芽しました。播種する時によい種子ばかりを選択したからでしょうか、驚く程でした。処が川砂で肥料はないし、定温器内が狭いし薄暗いから、ひよる長くなるし、露地へ出すには寒すぎるし、結局3月21日に大きな鉢に移植して外に出しました。

温室育ちとはよくいわれる事ですが残念乍ら殆んど駄目、現在各種1本宛残つている丈、それでも今年の夏の干バツに堪えたわけですが淋しい極みです。

さて残りの大部分の種子も4月か5月頃に播種すればよいのに、つい播きおくれて8月17日に播きました。今度はミカン箱に砂土肥料も入れて普通の苗圃の様に又、100粒宛を等間隔に1コ宛丁寧に蒔き昆虫にいじられぬ様蓋をしてお守りをしました。気温も9号台風の後でしたから25度位から17度位迄にも下りましたが、それでも条件は良かった筈です。1週間も10日も過ぎても1コも発芽しません。9月1日になつてギガンテイの方は12コ丈発芽しましたがセンベルピレンスの方は現在尙1コも発芽をせず腐つてしまつた様です。

発芽した方もまるで茄子の青枯病の様になつて根元の処が萎んで次から次へ枯れてしまつています。3月に発芽したのになぜ8月に発芽せぬか、産附近で同じ種子10コ丈を4月に蒔いたところ全部発芽してよく生育しているとの事ですが、3月に発芽し4月に発芽し8月に発芽が悪くなつたのは種子がかたくなつた為か他に何か原因があつたのか今の処全くわかりません。

今度はシャーレーで発芽させてみて幼根が出かけた時、子葉の出る迄に露地に埋めてみようかと思つています。

更に又新しい種子をもう一度アメリカから取り寄せようかと思つていますが、普通の大根種子袋位一袋が飛行便にして約1500円位かかりますので大分発芽してセコイヤの大森林に迄育てて貰らぬと困つた事だと思つています。